

令和3年度 第6回 広報公聴委員会 会議録

開催日	令和3年10月12日(火)
会議時間	午前12時58分 ~ 午後1時52分
開催場所	佐倉市議会 議会棟1階 全員協議会室
出席委員等	[委員長] 敷根 文裕 [副委員長] 徳永 由美子 [委員] 松島 梢、高橋 とみお、宇田 実生子、鍋田 達子、 密本 成章、岡野 敦、斎藤 明美、萩原 陽子
欠席委員等	なし
委員外議員	なし
説明のため出席した者の職氏名	なし
議会事務局	[局長] 向後 昌弘 [次長] 宮崎 由美子 [書記] 飯野 明、野村 忍、久保田 雅子
協議事項	(1) 意見交換会について

【決定事項】

(1) 意見交換会について

- アンケート内容・案内はがき内容について
- アンケート・案内はがきが完成次第、委員に配布
- 回答期限12月20日
- スケジュール

11月上旬にはがき発送、年明け集計作業、集計結果作成、3月集計結果公表

(2) その他—議会だよりについて

- ① 今後は、委員会当日ではなく、事前に、『会派の意見』・『議会百景』の原稿を各委員に配布。
議会百景の一部については、委員会での意見を踏まえて正副委員長と執筆者とで協議の上修正する。
- ② 議会だより11月1日発行号については、選挙関係で11月1日付け新聞の出来上がりが朝方で、折り込めないとの連絡あり、10月31日に新聞折込する。

【主な意見等】

(1) 意見交換会について

アンケート内容

- ・どこの地域で問題があるのか、回答率など設問に『地域』を入れてほしい。
→ターゲットはコロナ禍の営業状態を知ること。コロナの影響は地域で偏在していないと考える。地域性を考える必要性はないのではないか。また、設問数をさらに増やすと回答率が下がることも考え省かせていただいた。→個人的には地域性はあると思う。
→どこに点在しているのかは担当課に聞いてもよいのでは。
- ・設問数が多く、10分位かかりそう。PC操作の苦手な方に配慮すべき。
- ・設問1-1-1『業種』—ここまで細かくする必要があるのか。答えやすく整理して。
→ほかの統計と比較するのに必要。業種ごとの具体的な支援を知るために必要。事業者にとってはなじみのあるもの。

- ・設問 2-4-1 ○割と○%と○分の○などの統一を。
- ・調査概要ー 調査期間に曜日を入れた方がいい。
- ・返送期限とは→ 消印有効日。
- ・必須と任意入力にできるのか。→できる。
- ・行政からの情報はどのようなツールで得ているかという設問を入れてほしい。
- ・設問 4-2 どのような支援があれば回復期間が短縮できるかについてー 「現金給付」と「経費への補助」を一緒に。みな現金給付を選んでしまう。
- ・「税制上の優遇」を追加しては。(経費への補助、現金給付とは違うため別項目で)

□ 案内はがきについて

- ・回答期限ー 曜日を入れた方がいい。
- ・集計結果の取扱いについてー公表するなら、外部提供をすることはありません。の文言はなくてもよいのでは。→「アンケート集計のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。なお、集計結果を公表させていただく」という文言に変更する。
- ・無記名方式を強調してほしい。
- ・インターネットが出来ない方への対応が大事。郵送対応についての記載を着色で目立たせる。
- ・回答期限枠ー目立つように位置を上部に変えた方がいい。
- ・「佐倉市から」ではなく、「佐倉市議会から」の記載がいい。

(2) その他ー議会だよりについて

□ 『会派の意見』・『議会百景』原稿について

- ・前回委員会で配布した議会だよりの『議会百景』の原稿に、ある議案を否決した特定会派への批判と受け取れるような内容があったことから、議会百景としてふさわしくないのではとの意見が複数の会派から委員会終了後にあった。当日配布されてすぐに全部に目を通すことは困難だったため、その場で意見は出なかった。今後は事前に配布してはどうか。
- ・議会百景は委員で持ち回り。委員でなければ反論する機会もない。会派等の意見、議会百景の在り方を考えていく必要があるのでは。
- ・会派等の意見は、賛否一覧を補完するもの。賛否だけで、その議決をした理由を載せなければ、読み手に誤解を与えかねないために設けられた。本会議の中で議論された内容であれば各会派の思いを書く分には差し支えないのでは。
- ・原稿を書く上で規制はしたくない。異議が出た時に協議しお互いに歩み寄るようにしては。
- ・議員の意見に制限や規制はできるだけすべきではない。議員個人のカラーもある。原稿は議員の責任で書いている。誰が見てもおかしいと思うもの以外は、議員の意思表示を認めるべき。変更するのであれば、合意が必要。
- ・各々の意見を述べるのであれば、『会派等の意見』で述べるのが適当。
- ・やはり議会百景は議会だよりの編集を終えてという部分。議論そのものや議案に対する発言は定例会のなかで行っているし、その結果を議会だよりに載せることが目的だと考えると、みんなで作り上げていくというタッチでいけばいいのではないかと。議会百景については、編集後記としての捉え方とし、良識の範疇でやっていくのがいい。
- ・良識というのは、漠然としていて、主観的だと思う。また、議会百景に編集後記ではない、議案に対する意見も過去にある。
- ・良識というと個々差があるが、編集を終えてという感覚が適している。

- ・批判的な表現ではなく、前向きな表現にしては。

【次回の開催について】

令和3年12月1日（水）本会議終了後

以上のとおり会議要録を作成し、ここに署名する。

委員長 敷根 文裕